

03

情報流通行政局

PROFILE

Hirose Kentaro

平成10年	4月	郵政省採用 大臣官房人事部人材開発課
平成10年	7月	通信政策局情報企画課
平成12年	7月	通信政策局総務課
平成13年	1月	情報通信政策局総務課
平成14年	8月	大臣官房総務課
平成16年	7月	総合通信基盤局電波部電波政策課政策係長
平成18年	8月	参議院法制局第三部第二課参事
平成21年	7月	情報流通行政局地上放送課計画係長
平成 3年	8月	情報流通行政局地上放送課第一業務係長
平成26年	8月	情報流通行政局放送政策課事業振興係長
平成27年	8月	現職

情報流通行政局
衛星・地域放送課課長補佐

広瀬 賢太郎

平成10年入省

私たちに
“身近な”
放送を考える



とある一週間

● 月曜日

今週一週間の業務を確認。4K配信に取り組む放送事業者から課題等をヒアリングし、今後の業務に活用。

● 火曜日

4K・8K放送に関する技術実証について、進捗を踏まえ今後の進め方に関し実施事業者と意見交換。

● 水曜日

4K・8K放送に使用する無線局の免許方針について、ライン内で論点を検討し、案を策定。

● 木曜日

医療やサイネージの分野での4K・8Kの活用事例について視察。また、業務に関連する他局の会議を傍聴し、議論を把握。

● 金曜日

策定した免許方針案について、課長に説明し、指摘があった事項について引き続き検討。

🔊) 新しい放送サービスの実現

皆さんは「4K・8K」をご存じですか。「4K・8K」とは映像の規格で、4Kは画素数が現行ハイビジョンの4倍、8Kは同16倍あり、高精細で立体感や臨場感ある映像を実現するものです。国、放送事業者、メーカー等で策定した「4K・8K推進のためのロードマップ」では、2020年に、4K・8K放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K番組を楽しんでいること等を目標としています。

このロードマップに沿って関係者の取組が進められており、2015年にCS（通信衛星）等で4K実用放送が開始されました。2018年にはBS（放送衛星）等で4K・8K実用放送を開始することとされており、私の所属課では現在そのための制度の整備、技術実証の支援等に取り組んでいます。今後放送を行う事業者の申請を受け付け、認定を行う予定です。国民視聴者が期待する新しい放送サービスの実現に取り組むことは非常に意義深いと思っています。

🔊) 放送もあります

私はここ数年放送に関する業務に携わっています。放送は、いち早く様々な情報を入手する手段として中心的な役割を担ってきたと思います。総務省では、放送が引き続き国民視聴者から期待される役割を担えるよう課題に取り組んでいます。

私が携わった中で特に印象に残るのは、テレビ放送のデジタル化です。ご存じの通り、アナログ放送の停波のためには、各家庭のテレビ等の受信機がデジタル化される必要がありました。この難しい課題を伴う停波を大きな混乱もなく実現できたのは、総合通信局を含め携わる職員があらゆる対策に一丸となって取り組めたからであり、私自身、貴重な経験をしたと感じています。取組を通じ、放送がいかに国民に浸透し、必要とされているか実感もしました。

ICTというとインターネットなど通信サービスを思い浮かべる方も多いと思いますが、放送もあります。ICTに少しでも関心がある方にはぜひ総務省を訪れてほしいと思います。



Private Time

休日は地図から目的地やルートを選んでよく歩いています。健康を意識したのがきっかけですが、実際に歩いてみると毎回ちょっとした驚きや発見があって、継続の原動力になっています。最近では某国の大使館がごく普通のマンションに入っていてびっくりしました。日常に大使館がある生活とはどんなものなのでしょうね。